

第3次あきた子ども・若者プラン(案)の概要

目指す社会

子ども・若者を尊重し、全ての世代が
支え合いながら共に生きる社会

基本的な視点

- ・ 社会を構成する担い手として子ども・若者を位置づける
- ・ 子ども・若者の置かれている状態に応じて支援する
- ・ 多様な主体による取組とネットワーク化を促進する

基本目標

- ・ 子ども・若者が健やかに成長できる環境づくり
- ・ 困難を有する子ども・若者への支援
- ・ 秋田の未来を切り拓く子ども・若者への支援

乳幼児期(生まれる前～5歳)

- 施策1** 安心して出産できる環境の整備
妊婦健康診査や周産期医療体制の充実など、安心して
出産できる環境整備を促進
- 施策2** 子育てやその支援の充実
多様なニーズに対応し、保育の受け皿を充実させる
ほか、父親の育児参画を促進
- 施策3** 要保護児童への支援
児童虐待防止に向けた早期発見・早期対応の取組を
強化するほか、「里親制度」の普及と啓発推進
- 施策4** 支援を必要とする親へのサポート
ひとり親家庭への生活・就業支援やDV防止対策を推進

学童期(6歳～12歳)

- 施策1** 心身の健康づくりの推進
スポーツを通じた体力の向上や人格形成など、心身
両面の健康づくりや食生活の改善に向けた取組の充実
- 施策2** 家庭や地域の教育力の向上
家庭教育支援体制の充実や、地域の教育力
向上促進
- 施策3** 安全・安心な環境の確保
安全・安心な地域づくりを促進するとともに、
インターネットセーフティを推進
- 施策4** 要保護児童等への支援
障害のある子どもへの地域支援体制の整備の
ほか、児童虐待防止対策や児童ポルノ等の
犯罪対策を推進

義務教育期(6歳～15歳)

- 施策1** 豊かな人間性を育む学校教育の推進
子ども一人ひとりの基礎学力の向上、
ふるさと教育や多様な体験活動の推進
- 施策2** 小・中学校の連携の推進
小・中学校の連携推進による、連続性
のある教育活動を展開
- 施策3** 学校・家庭・地域社会の連携の推進
学校・家庭・地域社会が一体となり、
地域ぐるみで子どもを育てる体制
づくりを推進
- 施策4** いじめ防止と困難を有する子ども
への支援
子どもの貧困対策・いじめ防止・
不登校対策を推進

青年期(おおむね18歳～30歳代)

- 施策1** 職業能力開発・就労等の支援
就業のための能力開発や県内定着・回帰を支援
- 施策2** 多様な学びの場の確保
体系的かつ総合的な生涯学習の機会や、高等教育
機関による学びの機会等を提供
- 施策3** 地域の活力を担う若者への支援
地域活性化に向けた取組を促進するとともに、
地域で主体的に行動する若者を育成・支援
- 施策4** 出会いと結婚・子育て等の支援
若者の出会いの機会を創出するとともに、仕事と
育児・家庭の両立できる環境の整備を推進
- 施策5** 社会的自立に困難を有する若者への支援
若者の自立に向けたサポートの強化等

思春期(13歳～おおむね18歳)

- 施策1** 心身の健康づくりの推進
体力づくりや心の健康づくり・
自殺予防の取組を推進
- 施策2** 個性と創造力を育む教育の推進
少人数学習やICTを活用した学習、
開かれた学校づくりなどを推進
- 施策3** ふるさとへの愛着の醸成と
国際的視野の育成
ふるさととふれあう機会の充実、
国際理解・国際交流を促進
- 施策4** 社会参加・参画機会の拡大
地域社会の一員であることの
自覚を高めるための取組を推進

- 施策5** 社会への旅立ちの支援
キャリア教育の推進及び進路指導・
職業支援等の充実

- 施策6** 無業の若者・障害のある若者等への支援
無業の若者への職業体験や、障害のある
若者への就労支援を実施

- 施策7** 若者を非行・事件から守る取組
青少年健全育成運動の実施や、インター
ネット利用による犯罪被害等から子ども
たちを守る取組の推進

